

平成13年4月24日

中期貯蓄商品ラインナップの見直しについて

三菱信託銀行株式会社

三菱信託銀行（取締役社長 内海暎郎）では、高度化・多様化するお客さまニーズを的確に捉えた商品開発に努めてまいりましたが、今般、平成9年に販売を開始し、お客さまにもご好評をいただいている変動金利定期預金の一層の定着化を目指し、本日の経営会議にて、以下のような貯蓄商品ラインナップの見直しを決定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 中期貯蓄商品メニューの新体系

(1) 貸付信託2年ものの募集の取り止め

- 貸付信託（収益分配型）および貸付信託（収益満期受取型）「ビッグ」のうち2年ものにつき、平成14年4月20日設定分をもって募集を取り止めます。（平成14年5月5日設定分からの募集は行いません。）
- なお、貸付信託5年ものについては、ビッグ5年ものを含め従来通り募集を継続いたします。

(2) 変動金利定期預金「スプリング」の拡販

- お預け入れ期間2年程度の変動金利商品に対するニーズには、既に貸付信託2年ものを上回るご支持を得ております「スプリング」を中心にお応えしていく方針です。これにより、変動金利の中期貯蓄商品については、セールスを「スプリング」に集約化し、積極的な残高増加を目指します。

2. 見直しの理由

- 当社では、現在、変動金利の中期貯蓄商品としては貸付信託2年ものと「スプリング」を取扱ってきておりますが、「スプリング」の残高が貸付信託2年ものの残高を上回るような状況となってきましたこともあり、お客様にとって利便性の高い「スプリング」に注力することとしたものです。
- 「スプリング」は、お預け入れ後6ヵ月経てばスーパー定期預金などにお振り替えできるという点で、金利情勢とおお客様の判断に応じたご利用しやすい商品となっております。また、「スプリング」は期間も2年もののほか、3年もの、さらに2年超3年未満の期日指定も可能で、お預け入れ期間の選択の幅も広がっており、お客様の多様なニーズに対応できると考えております。

- 貸付信託2年ものの募集の取り止めは約1年先となりますが、これまでお預けいただいているお客様にご不便をおかけしないよう、また、今後、当社の変動金利定期預金をご検討いただけるよう、前広に発表させていただきました。

3. 信託型金融サービスの提供について

- 当社は、「スプリング」(2~3年もの)、「グローイング」(5年もの)を中心に変動金利定期預金にかねてより注力しておりますが、今後、変動金利定期預金のトップランナーとして「信託バンキング」の特長を生かし一層差別化した業務戦略を強めてまいります。

以上

<この件に関するお問い合わせ先>

三菱信託銀行 経営企画部広報室

宮腰 または 中元

03 - 3519 - 3071